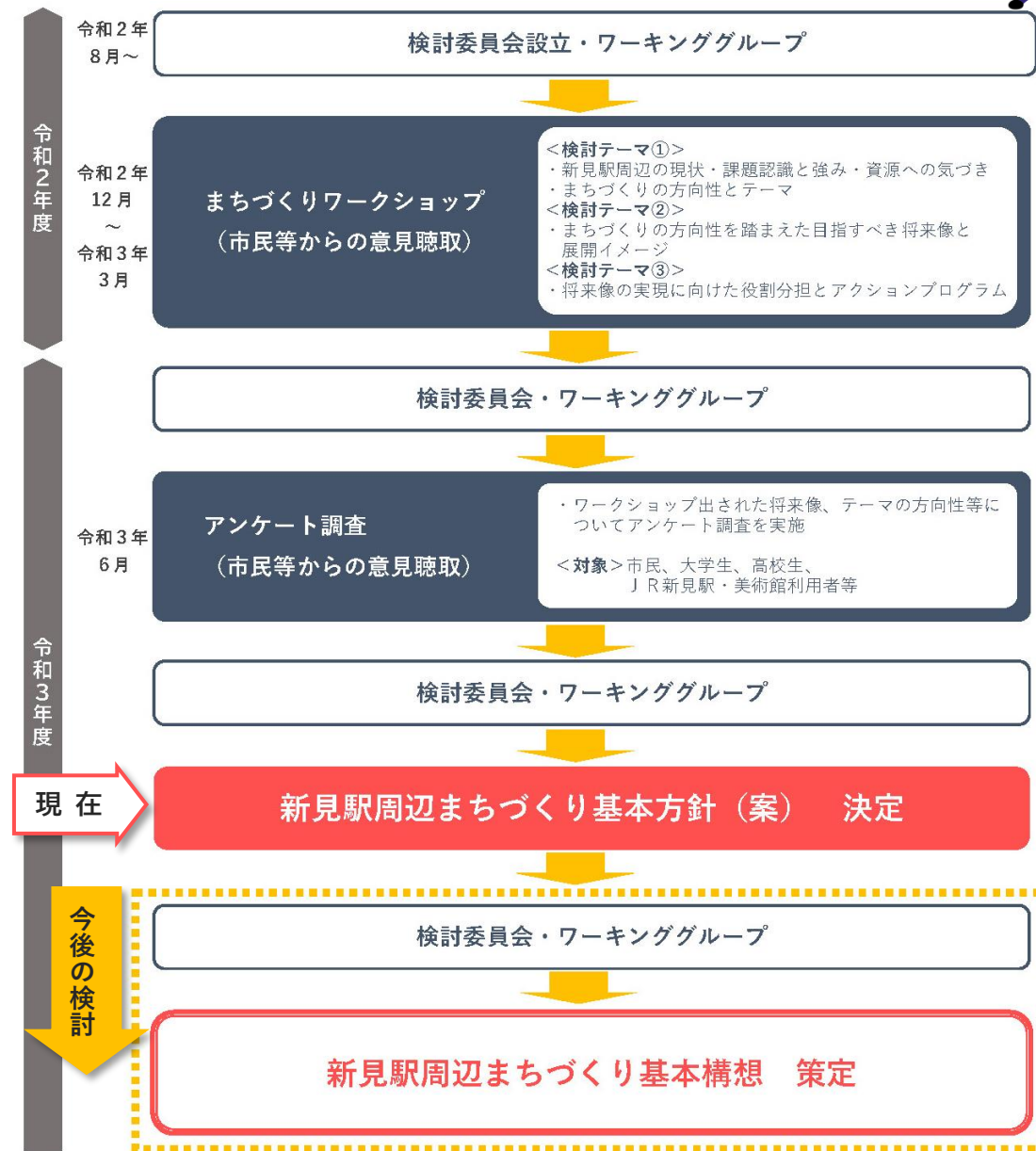


3 これまでの経過と今後の流れ

今後、本基本方針(案)をもとに更なる議論を行い、具体的なまちづくりの取組について検討していきます。

各取組や推進体制を定めた「新見駅周辺まちづくり基本構想」を、今年度末を目途に策定する予定です。

これからも、みんなで具体的なまちづくりの取組を推進していくよ。



発行：新見市建設部都市整備課 〒718-8501 岡山県新見市新見310-3
Tel：0867-72-6118



新見駅周辺まちづくりの最新状況はこちら：
https://www.city.niimi.okayama.jp/gyosei/gyosei_detail/index/8384.html



新見駅周辺 まちづくりニュース



この「まちづくりニュース」では、新見駅周辺のまちづくりに関する進捗情報をお届けします。

1 新見駅周辺まちづくり基本方針(案)が決定されました

新見駅周辺のまちづくりについては、検討委員会・ワーキンググループにおいて、市民参加型ワークショップや市民アンケート調査を実施するなど、幅広い市民の方々の意見を確認しながら検討を進めています。

この度、今年度末に策定する「新見駅周辺まちづくり基本構想」の基となる基本方針(案)が決定され、去る10月27日に検討委員会の林田委員長から戎市長へ報告されました。

この基本方針(案)は、多様な主体が連携して様々な取組を推進して行くため、まちづくりの目標や方向性など基本的な考え方を整理したものです。

本ニュースでは、この基本方針(案)の概要を紹介します。



林田委員長より戎市長への報告の様子



新見駅周辺まちづくりワークショップ



新見駅周辺まちづくり検討委員会

2 「新見駅周辺まちづくり基本方針（案）」の概要

地区の現状・問題点

地区の現状

- ・居住人口は年々減少しており、空き店舗や空き家が増加している。
- ・JR新見駅は3線が結ぶ要衝駅であるが、近年乗車人員数は減少している。また、駅のバリアフリー化が課題となっている。
- ・駅からのバスの本数が少ない。
- ・駅から駅南側へのアクセスが不便である。
- ・県内でも有数の来場者数を誇る新見美術館があるが、バリアフリーへの対応や、アクセス面で課題がある。
- ・駅周辺に子ども、学生が集まって過ごせる場所や待ち時間を有意義に過ごせる場所がない。
- ・親水公園や護岸の壁面など高梁川周辺は整備されており、川を身近に感じることができる。
- ・昔ながらの趣ある商店街があるが、近年はものさみしい雰囲気である。
- ・観光や周辺のお店の情報が分かりにくく、他のスポットへの周遊性が乏しい。
- ・川沿いの県道が狭く、歩きにくい。

地区を取り巻く状況

- ・新見公立短期大学地域福祉学科と幼児教育学科（2年制）が新見公立大学（4年制）へ再編され、また定員の増加により学生数が増加している。
- ・駅西エリア整備事業が進行している。
- ・令和元年9月集中豪雨により、新見駅周辺で土石流や床上浸水の被害発生。

求められる対応

- ① JR新見駅周辺の再興を目指した、駅周辺における拠点形成、賑わいづくり
- ② バリアフリー化等を含めた、公的施設の継続的な運営
- ③ 駅周辺エリア内のネットワーク強化と、駅へのアクセス利便性向上
- ④ 観光客等来訪者への分かりやすい情報提供とおもてなし
- ⑤ 若者や子育て世代から高齢者までそれぞれが、気軽に集い楽しめる場の整備
- ⑥ 駅周辺において、有意義な待ち時間を過ごせる滞留空間の確保
- ⑦ 既存ストックを用いた、まちの新たなコンテンツづくり
- ⑧ 学生をはじめ、地域の担い手となる人材の豊富さを活かした取組
- ⑨ 自然資源の活用と災害対策

市民意向

- ・まちづくりワークショップ・アンケートでの意見

第3次新見市総合計画（令和2年6月策定）

新見都市計画区域マスタープラン（平成29年3月・岡山）

新見市都市計画マスタープラン（令和2年11月策定）

都市づくりの将来像 未来につなぐ「産業・健康・自然」共生のまち・にいきみ

全体構想

1. 土地利用の方針（抜粋）

- ・新見駅周辺におけるにぎわい・交流空間の整備
- ・立地適正化計画を活用した都市機能の集約
- ・中心市街地周辺の商業・業務地の検討
- ・居住ニーズに合わせた住環境づくり

地域別構想（新見駅を中心とした西方・高尾地域）

【地域の将来像】市の玄関口として、にぎわい・交流の創出及び子育てを支える都市環境づくり

上位計画の位置づけ

まちづくりのテーマ

みんなにやさしい みんながたのしい みらいにつなげるまちづくり

基本目標（将来像）

未来につながる
新見のゲートウェイ

多様な感性の交流が生まれ続ける場

みんなで住み継ぐ
活気あふれるまち

まちづくり方針(方向性)

施策分野

方針1

市の玄関口として
にぎわい・交流を
創出する



- 1-1. 誰もが使いやすい駅への整備促進
- 1-2. 駅を中心としたエリアへのアクセス性を向上し、駅の拠点性を高める
- 1-3. 新見を感じるおもてなし環境づくり
- 1-4. 観光周遊拠点としての機能強化

方針2

みんなで
使い続けられる
心地よい
居場所づくり



- 2-1. 歩いて楽しい屋外空間づくり
- 2-2. みんなが集える拠点づくり

方針3

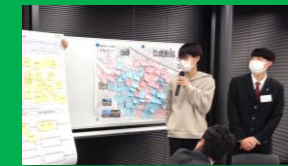
自然の中で
豊かな感性を育む



- 3-1. 芸術を取り入れたまちづくり
- 3-2. 高梁川を活かすまちづくり
- 3-3. 子育て環境の充実

方針4

地域の中の
様々な活力をつなぐ



- 4-1. 若い力を活かすまちづくり
- 4-2. 既存ストックを有効に活用するまちづくり



方針5

暮らしの基盤を
整える

- 5-1. 安心・安全な駅周辺エリアの形成